

表彰推薦委員会報告

執行部にて

令和元年度末に現委員の丸田会員から退会の連絡があり、新任の委員選考を開始した。残留する片山が末梢、誘発、筋電図領域であるため、脳波やモニタリング、ISO 対応に詳しい会員から選考を開始。2019 年 12 月半ばから翌1月にかけて検討し、3 氏を候補として協議した結果、新任委員は天理医療大学:和田氏、広島大学病院:小山氏として評議員会に諮問、承認を受けた(2020.1.16-2.2)。その後、委員の委嘱状および兼業依頼書などを即時送付、受理され決定した。

以下表彰推薦委員会議事録

40 歳以上の会長賞、40 歳未満の学術奨励賞の推薦者を選考。

会長賞は、奈良県立医科大学附属病院 高谷恒範氏、学術奨励賞として香川県立保健医療大学 大栗聖由氏、および鳥取大学医学部附属病院検査部 高森稔弘氏が挙げられ、高森氏が受賞経験者であったため以下の 2 氏を評議員会および総会に推薦する。

2020 年度 学術表彰候補者

会長賞:高谷恒範 氏(奈良県立医科大学 中央手術部)

対象論文:「術中神経モニタリングにおけるチェックリストの運用と安全管理の現状について」

高谷 恒範, 重松 英樹, 本山 靖, 中瀬 裕之, 川口 昌彦

臨床神経生理学、47 巻 3 号 p. 131-138、2019

学術奨励賞:大栗聖由 氏(香川県立保健医療大学 臨床検査学科)

対象論文:「High-frequency component in flash visual evoked potentials in type 3 Gaucher disease」

Brain & Development 42(2020),19-27

Masayoshi Oguri a, Yoshiaki Saito b,c, Tohru Okanishi d, Yuka Matuura a,

Shota Akiyama a, Takuya Ikeguchi a, Aya Narita b, Yasuaki Hirooka a, Yoshihiro Maegaki b,

今後の表彰推薦の在り方についての協議(2020.2.16)

和田委員より、『会員自身に発表した論文を ML でアピールしてもらうのはどうか？選考に役立つだけでなく、会員のモチベーションアップにも繋がるのではないか』との提案あり。

立候補するかしないかは本人の自由を前提とし、査読有りの論文が掲載された場合、自薦他薦問わず、推薦委員まで連絡してもらうことで、全体を網羅できると判断した。推薦内規を若干変える必要があるため、評議員会、総会に諮る予定。また、会員の業績を広く知らしめるために ML への PDF 添付について議論があった。事務局で ML 管理運営サイドに問い合わせ、可能であることが確認された。今後、受賞者の講演の機会を設けることも議案として挙がり、検討していくこととなった。

(2020.3.31 文責 表彰委員会委員 片山雅史)